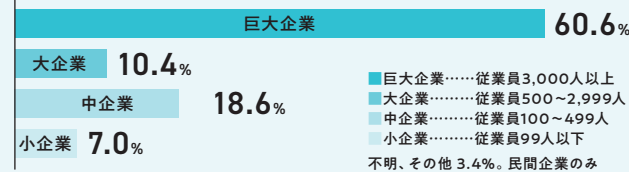


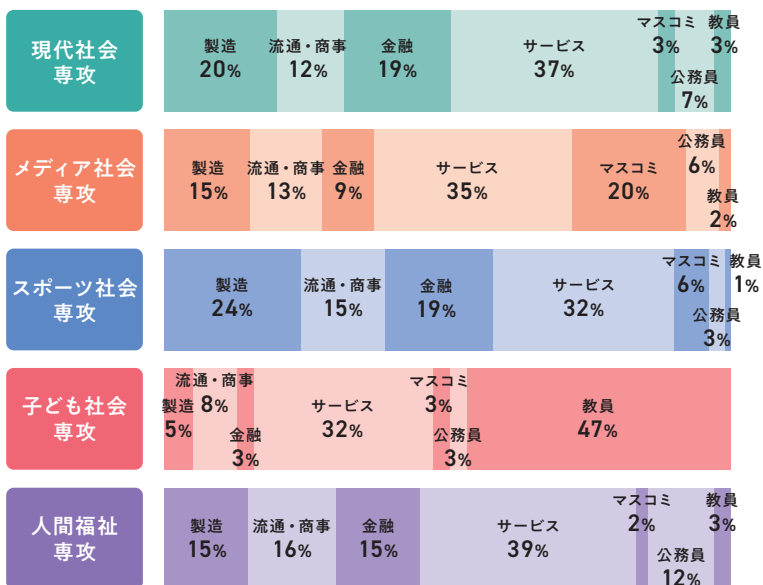
培った力で 未来を切り拓く



〔企業規模別就職先〕立命館大学産業社会学部（2025年度卒）



専攻別 主な就職先



学部として国家公務員一般職 **11**名、地方公務員 **29**名、教員 **32**名

※グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。※端数処理の関係で100%にならない場合があります。

製造: 株式会社IHL、アイリスオーヤマ株式会社、アサヒグループ食品株式会社、鹿島道路株式会社、カルビー株式会社、株式会社河合楽器製作所、キヤノン株式会社、京セラ株式会社、コニカミノルタ株式会社、サントリーホールディングス株式会社、資生堂ジャパン株式会社、スズキ株式会社、住友林業株式会社、積水化学工業株式会社、大成建設株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、大東建設株式会社、大日本印刷株式会社(DNP)、タキイ種苗株式会社、株式会社デンソー、東芝ライフスタイル株式会社、日鉄ケミカル&マテリアル株式会社、日本板硝子株式会社、パナソニックエナジー株式会社、株式会社日立製作所、ホンサキ株式会社、三菱電機株式会社、株式会社村田製作所、山崎製パン株式会社、株式会社ロッテ、YKK AP株式会社

流通・商事: イオンリテール株式会社、岩谷産業株式会社、京都生活協同組合、株式会社ヤマダデンキ

金融: あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社池田泉州銀行、SMBC日興証券株式会社、株式会社京都銀行、住友生命保険相互会社、損害保険ジャパン株式会社、第一生命保険株式会社、大和証券グループ、大同生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社西日本シティ銀行、株式会社日本政策金融公庫、日本生命保険相互会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社三井住友銀行、株式会社りそな銀行

サービス: ANA(全日本空輸株式会社)、イオンモール株式会社、株式会社NTTドコモ、NTT西日本(西日本電信電話株式会社)、株式会社大塚商会、京セラコミュニケーションシステム株式会社、独立行政法人国際協力機構、株式会社電通デジタル、名古屋鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、日本航空株式会社、日本年金機構、公益財団法人日本相撲協会、日本中央競馬会、日本郵便株式会社(日本郵政グループ)、日本赤十字社、社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団、株式会社マイナビ、三井不動産リアルティ株式会社、楽天グループ株式会社、リソーテラス株式会社

マスコミ: 株式会社朝日新聞社、NHK(日本放送協会)、関西テレビ放送株式会社、株式会社産業経済新聞社、株式会社中日新聞社、株式会社TBSテレビ、株式会社日本経済新聞社、株式会社博報堂プロダクツ、株式会社バンダイナムコフィルムワークス、株式会社毎日新聞社、株式会社U-NEXT HOLDINGS、株式会社読売新聞東京本社(他多数)

取得できる資格

全専攻で取得可能

●社会調査士(定員60名)

※定員を超えて申し込みがあった場合は選考を行います。

人間福祉専攻のみで取得可能

●社会福祉士国家試験受験資格(定員40名)

※社会福祉士資格課程の履修希望者には選考を行います。

※社会福祉士資格課程の履修には別途社会福祉士課程履修料(※2025年度実績 9万8千円)の納入が必要となります。

取得できる教員免許

全専攻で取得可能

●中学校教諭一種(社会・保健体育)

●高等学校教諭一種(地理歴史・公民・保健体育)

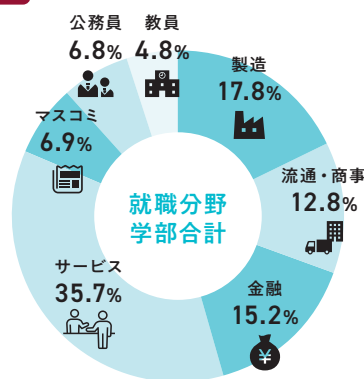
●特別支援学校教諭一種(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

大学での学びが楽しいと感じた人は、ぜひ大学院進学を考えてみてください。楽しいだけでなく、もっと専門性を高めませんか。学部4年生で、大学院授業を早期履修もできます。グローバル社会で求められるスペシャリストへの第一歩を踏み出そう。

〔社会学研究科〕



学部 主な就職先



進路・就職・資格について詳しくはこちら
www.ritsumei.ac.jp/ss/recruit/



〔充実のキャリア形成・就職支援〕

低回生からキャリアイメージを形成できるよう、多様なキャリアにふれる企画が充実しています。さまざまな分野で活躍する卒業生のトークセッションや就職活動に役立つ実践的スキル育成のための講座がそろっています。

キャリア形成特殊講義(キャリア探偵団)

企業担当者からの助言・指導を受けながら、企業が実際に抱える課題に対して政策提言をおこなうクラスです。フィールドワーク調査や企業へのプレゼンテーションを通して、学生が自身の職業キャリアについても考えるきっかけとなっています。

キャリア形成・就職支援

〔過年度実施例〕●「貿易業務、国際業務、Globalで活躍するために」(卒業生による講演会)●「ジャーナリスト塾」((新聞)記者による作文と面接指導)●「スポーツに関連する仕事の実践」(卒業生による講演会)●「輝く社会福祉現場」(現場で働く方による講演会)●「実践的能力育成のための講義」(専門家によるグループディスカッション、ロジカルシンキング、プレゼンスキル講座)●「社会福祉士国家試験対策講座」や「教員採用試験対策講座」など

立命館大学キャリアセンターHP
www.ritsumei.ac.jp/career



RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

Futurize.

きみの意志が、未来。

立命館大学 産業社会学部

Guide Book 2027

- 現代社会専攻
- メディア社会専攻
- スポーツ社会専攻
- 子ども社会専攻
- 人間福祉専攻

“社会の深層を読み解く力”を、あなたに。

ニュースを読み、生成AIを使い、社会の中で生きていても、本当に見えているのは、社会の表面だけかもしれません。「なぜそうなっているのか？」を問い直し、社会の深層を読み解く力——それが産業社会学部の学びです。

社会を読み解く。社会を変える。

柔軟なカリキュラムで
専門性と学際性を高める

クロスオーバー・ラーニング

地域や社会との関わりから
問題発見・解決する

アクティブ・ラーニング

2つの専攻での学びから
複眼的な思考と知見の形成を目指す

ダブルメジャー履修制度

産業社会学部生の学び

卒業論文テーマの分析 2021~2025

5つの専攻の専門性を発揮したテーマ



専攻を横断した複合的なテーマ

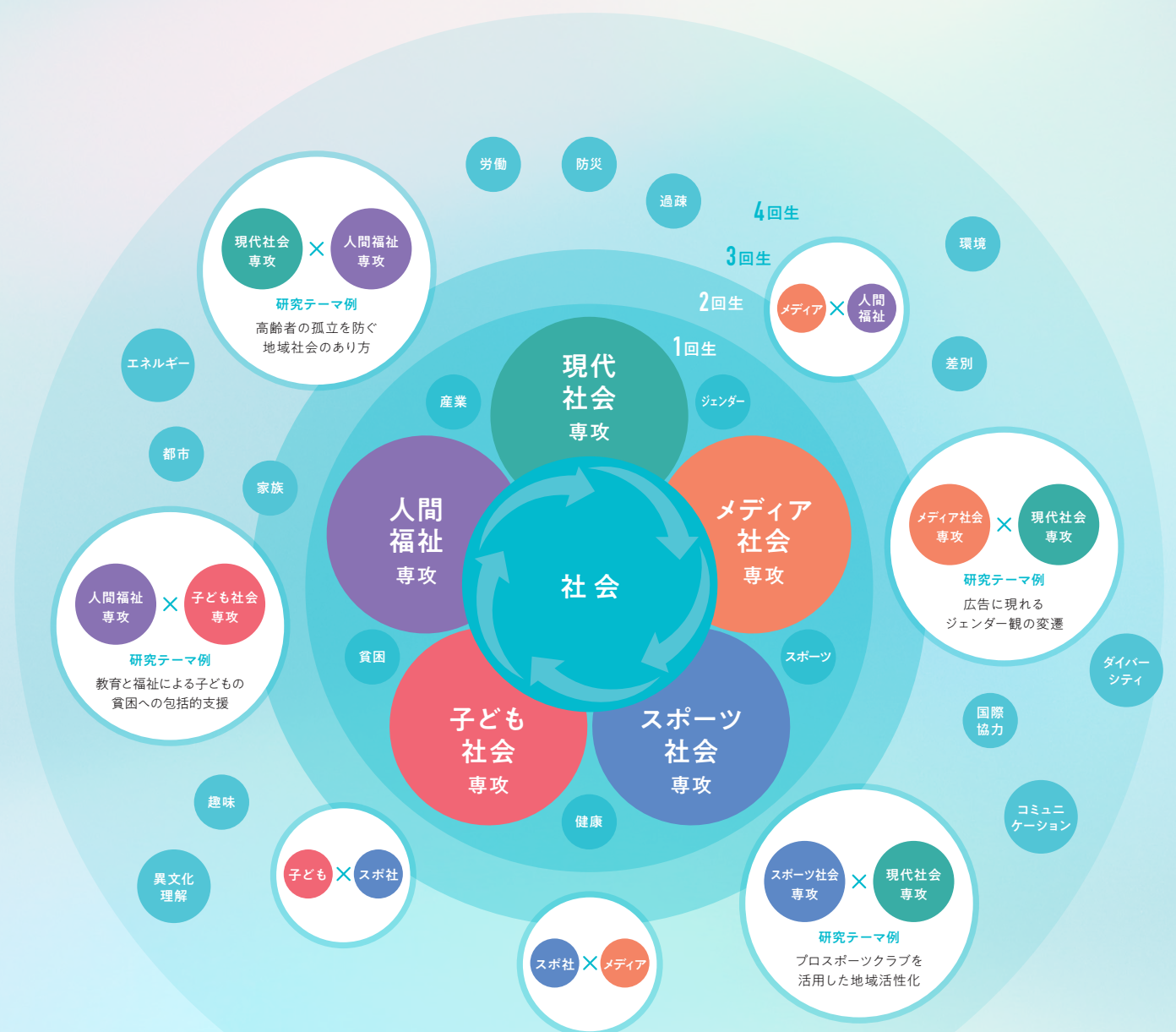
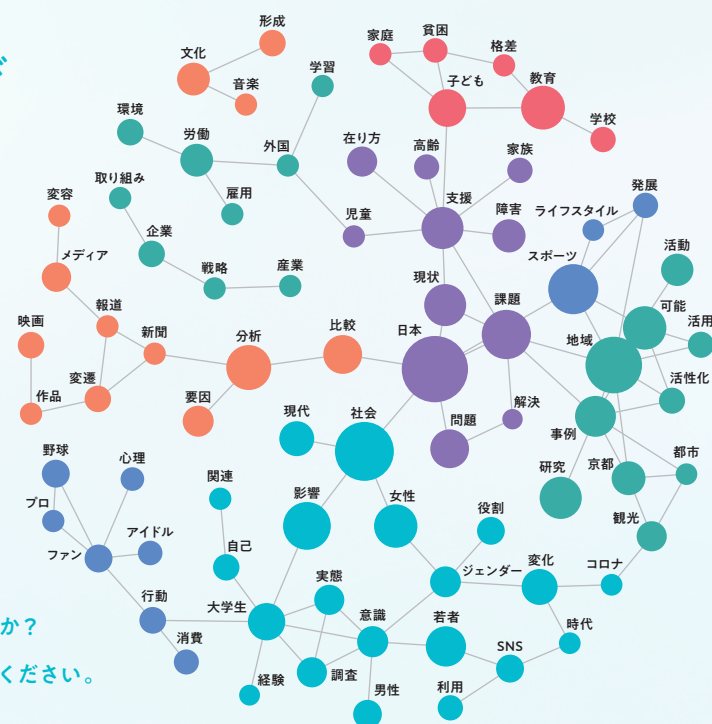


理論的・実証的・実践的な研究

産社生の卒業論文は多様で専門的で、社会的。

あなたが興味のある研究のキーワードはありますか？

なくても、自分のやりたいテーマにチャレンジしてください。



5つの専攻で、専攻の枠を越えて、

多様な社会問題への理解を深め、解決に向けて専門的・学際的に学ぶ

4年間の学び

自分だけの学びをデザインする



全学の海外短期研修
プログラム



学びの特色について
詳しくはこちら



5つの専攻、幅広いテーマ、多様な仲間との出会い、
一人ひとりの想いをひろうサポートが、あなたの問いをかたちにする。

◆専門性と学際性を高めるカリキュラム

4年間の学びについて
詳しくはこちら



現代社会 専攻	●多文化共生論 ●環境論	●家族社会学 ●労働社会学	●社会病理学 ●都市論	●住民自治論 ●国際社会経済学	●社会文化論 ●比較宗教論	●社会思想 ●比較ジェンダー論 など
メディア社会 専攻	●現代とメディア ●メディア技術史	●現代メディア史 ●メディア文化論	●メディア社会論 ●ジャーナリズム論	●広告文化論 ●スポーツメディア論	●音声メディア論 ●メディアリテラシー論	●映画と社会 ●グローバルメディア論 など
スポーツ社会 専攻	●現代とスポーツ ●スポーツ史	●ウェルネス論 ●スポーツ社会学	●スポーツ文化論 ●スポーツ政策論	●スポーツマネジメント論 ●障害者とスポーツ	●スポーツとジェンダー ●グローバルスポーツ論	●スポーツ人類学 ●余暇の社会史 など
子ども社会 専攻	●子どもと社会 ●子どもと教育の歴史	●現代学校教育論 ●現代教職概論	●現代若者論 ●子ども・若者と 社会病理	●学校文化・学校空間論 ●学校カウンセリング論	●子どもとICT ●子どもと遊び	●グローバル教育論 ●いのちの教育 など
人間福祉 専攻	●現代と福祉 ●社会福祉概論	●人間発達論 ●ソーシャルワークの 理論と方法	●公的扶助論 ●社会保障論	●NPO・NGO論 ●国際保健医療政策研究	●児童福祉論 ●地域福祉論	●人間発達論 ●臨床社会学 など

3年生

ゼミナール

1・2年生で得た知識や
アカデミックスキルをもとに、
専門テーマを深め、
進路目標を明確化していきます。

4年生

卒業研究

4年間の学びを
社会で活躍する力に高め、
学びの成果を卒業論文・
卒業制作に仕上げます。

大学院進学
就職

1年生

基礎演習

大学での研究に必要な基礎力である、
知識・教養・問題構造の理解力・
情報収集力などを磨いていきます。

2年生

プロジェクト スタディ

専門性を高めるとともに学際的な
学びを進め、緻密に考え発信するための
アカデミックスキルを高めます。



アメリカ・カリフォルニア
(レジャー・スポーツビジネスの最前線を学ぶ)



オーストラリア
(社会学を学び実用的・学術的英語力を伸ばす)



ポーランド
(平和、教育、福祉の理念と実践を学ぶ)



台湾(多様な文化・社会について探求を深める)



三重県志摩市(地域観光プランニング研究)



沖縄県(ひめゆり平和祈念資料館での平和学習)

国内外のフィールドから学ぶ実践的なプログラム

ソーシャルデザインプログラム(SDP)

「社会問題の発見と解決」に関する理論と実践を体系的に学ぶプログラムです。グローバルな視点で社会のさまざまな課題を捉え、ローカルな視点を持ちながら課題の解明と解決をグループワークや個人ワークで実践していきます。



SDPを通して
「まだ出会っていない自分に出会いましょう!」
永野 聡 教授

グローバルスタディプログラム(GSP)

国内外で生じるさまざまな社会問題について、国際的な視点から理解を深めるためのプログラムです。多文化共生や異文化理解を学ぶ講義科目に加え、海外での体験型フィールドワークや発展的な外国語科目を履修することで、国際的な視点やコミュニケーション力、実践力を身につけます。

海外短期研修

海外の大学と連携しながら海外短期研修プログラムを実施しています。産業社会学部のカリキュラムの中で培った外国語の総合的運用能力を基礎に、海外というフィールドで各分野の専門学修を深めます。

地域連携プロジェクト

「問題の本質的な理解をもって、解決に向けた思考力と実践力を養うこと」「多様な他者とのやりとりの中から自分自身を批判的に検証・理解し、総合的な人間力を養うこと」を目指し、産業社会学部では、地域連携プロジェクトを積極的に展開しています。

実践家に学ぶ

産業社会学部では、学外諸機関からゲストを迎えた専門科目を開講しています。社会の第一線で活躍しているプロフェッショナルの講義はとてもパワフルです。
【開講科目例】
読売マスコミ講座、読売スポーツ社会学講座、朝日新聞・朝日放送リレー講座、京都市連携講座

産業社会学部Webサイトで
詳しく紹介しています。



プログラム・資格

英語副専攻
高度な英語運用能力を身につけながら、社会学関連の専門知識を幅広く英語で学び、発信する力を鍛えるプログラムです。
社会調査士
産業社会学部では、必要な科目の単位を取ることで「社会調査士」資格を取得できます。「社会調査士」は、インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、世論や市場動向、社会事象などを捉えることのできる能力を有する「社会調査の専門家」であることを証明するものです。

現代社会専攻

現代社会の課題に多角的な視点から鋭く迫り、
真に豊かな未来を探求する。

経済・社会のグローバル化、宗教・文化の違いを巡る対立や紛争、貧困・格差の深刻化、家族の多様化、災害からの復興、過疎が進む地域の疲弊、異常気象と地球温暖化…。現代社会専攻は、多岐にわたる現代社会の諸課題を多角的に学ぶ専攻です。社会の構造に関する理論・思想と歴史・実践を学び、フィールドワークも積極的に取り入れることで、社会課題の解決に向けて主体的に取り組む力を培います。

学びの特色

自由で公正な社会を実現するために、
自ら「問い」を立て、多角的・複眼的に学ぶ
ことを通じて、具体的な解決策を探求する。

現代社会専攻は、社会の諸課題に関して、自分自身の興味関心にもとづき、多角的・複眼的な視点から鋭く迫る学びを提供しています。「社会形成」「社会文化」「環境社会」という3つの領域とその科目群を中心に、自らの問題意識に沿って学びをデザインし、教員や同級生とともに深く探求していくことができる履修プログラムを用意しています。

卒業論文テーマ (過年度例)

- 仕事と子育ての両立はなぜ難しいのか ―非正規雇用の女性からみる
- 戦争をどう反省し、平和をどう捉えてきたのか ―舞鶴市と広島市を比較して
- 大地の芸術祭におけるアート作品の参加と地域コミュニティの活性化 ―十日町周辺地域での作品を事例に―
- 教育機会均等としての大学無償化
- 産業競争力再構築に向けた日本の戦略―脱依存・共存と半導体分野の選択と集中―
- 「60歳からの人生ゲーム」を含むACPツールキットの新規性及び、医療介護職に対する有用性
- ルッキズムの視点から考える摂食障害 ―SNSの普及とその影響

身につく力

柔軟かつ強靱な知性と感性を得て、
自ら率先して社会をリードする人材へと
大きく成長を遂げる。

現代社会専攻での多角的な学びを通じて、現代社会の諸課題を複眼的に捉え、その解決策と道すじを構想する論理的・批判的思考を身につけることができます。社会課題の解決に必要な専門的知見と、多分野を横断的に捉える俯瞰力を獲得することで、日々刻々と変化していく現代社会を「生き抜く力」が涵養され、社会の様々な舞台で活躍することが可能となります。

Message 教員メッセージ

私のゼミでは、フィールドワークや沖縄での合宿を通じて、地域の歴史や人びとの経験から現代社会のあり方を考えています。社会学を中心に、政治学・経済学・心理学・環境論・ジェンダー論など多角的な視点が学べる現代社会専攻で、社会を読み解く言葉と思考を養いましょう。

増淵 あさ子 准教授

撮影場所：立命館大学国際平和ミュージアム常設展示場

まちづくりを通して、
地域社会の課題解決に
関わりたい

Student's Voice

現代社会専攻は学びの幅が広いことが特徴で、ジェンダー、環境、労働など、多様なテーマについて専門的に学ぶことができます。私はまちづくりに興味を持ち、現在は関連するゼミに所属し、地域社会の課題や活性化について学んでいます。自分の「好き」を突き詰めながら学ぶことができるため、自分らしく学びをデザインできる点に魅力を感じています。将来は、さまざまな社会課題に高いアンテナを持ち、人びとの生活に寄り添えるような仕事や活動に関わっていきたいです。

3年 I.Kさん

Pick Up!

環境論

公害問題の歴史やその背景にある社会構造、SDGsの最新事例までを幅広く学ぶ事ができます。

春学期 2年次の時間割

社会調査士課程を履修

	月	火	水	木	金
1限		環境論	社会調査論		
2限	社会統計学		計量社会学		社会病理学
3限	プロジェクトスタディ		労働社会学		比較ジェンダー論
4限					Academic Reading & Discussion I
5限					社会調査士II

春学期 3年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限			国際社会経済学		
2限		都市論		社会文化論	
3限	現代平和論	比較宗教論	Issues of Democracy	ゼミナール	
4限	住民自治論		戦争の歴史と思想		
5限			社会思想		

メディア社会専攻

メディアから、社会を鋭く考える。

メディアが社会で果たす役割や大切な使命を学び、社会とのより良い関係を考える。それがメディア社会専攻です。マスメディアやジャーナリズム、SNSやデジタルメディア、映像や音楽、アートや広告など、私たちの身近にある「メディアとの関わり」を社会科学の視点から見つめ直します。メディアの現場で役立つ知識を学ぶだけでなく、メディアが社会にどんな影響を与えているのか、これからどんなメディア社会が望ましいのかを問い続けることに力を入れています。

■ 学びの特色

3つの視点から、メディアを広く深く学ぶ。

メディア社会専攻では、3つの領域からメディアを多角的に学びます。「市民メディア」領域では、情報を「送る側」と「受け取る側」の両面から、私たちとメディアの関わりを考えます。「メディア社会」領域では、テレビや広告、ニュースなどのメディアと、社会・政治・歴史との関係を学びます。「メディア文化」領域では、映画やマンガ、スポーツなどの身近な文化を通して、メディアの役割や影響を読み解いていきます。

■ 卒業論文テーマ (過年度例)

- 新聞報道における「AIによる創作物」報道の分析 ―創作の主体を巡るフレームの変遷―
- 子どもの推し活体験の早期化と親の受容行動の分析 ―原宿・ベビタビ文化の子ども人気化を事例として―
- Z世代におけるアニメ／マンガ経験と生き方に関する語り ―少数事例に基づく生活史調査分析―
- ルッキズムはなぜ問題視されるのか ―コピー分析から捉える社会で作られる美の価値観とは―
- 21世紀のテレビドラマにおける「強い女性キャラクター」の描かれ方
- YouTubeチャンネル「THE FIRST TAKE」における「一回性」と「リアルさ」の再構築 ―複製メディア時代の映像表現をめぐって―

■ 身につく力

情報に流されず、
自分の言葉で伝えられる力を身につける。

メディアを通して情報を受け取り、発信することが、社会の中でどんな意味を持つのかを理解し、自分の考えを言葉で表現できるようになります。メディア社会専攻での学びを通して、AIの進化やフェイクニュースが広がる現代社会において、「何を信じ、どう伝えるか」を自分で判断できる力を養います。情報に振り回されるのではなく、社会の一員として責任あるコミュニケーションを実践できる確かな土台を身につけます。

多様な価値観に寄り添える
仕事に携わりたい

Student's Voice

メディア社会専攻の魅力は、広告、SNS、映像、消費文化など、身近なメディアを社会学の視点から幅広く学べる点です。日常的に接しているメディアを改めて問い直すことで、社会や人びとの価値観がどのように形づくられているのかを考えるようになりました。現在は、現代のメディア環境での消費文化をテーマにしたゼミに所属しており、広告における身体表象について研究しています。将来は専攻で得た視点を活かし、一人ひとりの価値観や暮らしに寄り添う仕事に携わりたいです。

4年 Y.Aさん

Pick Up!

マンガ文化論

表現、メディア、商品など複数の観点から
マンガの文化的特性を学びます。

春学期 2年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限		メディア リテラシー論			
2限	スポーツと ジェンダー	広告論		メディア 社会論	広告文化論
3限	メディア 技術史				社会政策論
4限	プロジェクト スタディ	映像表現論		表象文化論	
5限					国際ジャーナ リズム論

秋学期 3年次の時間割

グローバルスタディプログラムを履修

	月	火	水	木	金
1限		子どもと メディア			
2限	グローバル メディア論	広告論	映画と社会		
3限		マンガ 文化論	メディア 倫理	ゼミナール	
4限	現代 メディア史		English in the Media		
5限	グローバル 社会論				

Message 教員メッセージ

私たちの暮らしは、広告やSNS、AIなどのメディアと深く結びついています。Web上のデータの読み取りやコンテンツ分析、業界人との対話、新旧の技術の比較を通して、メディアの視点から日常を問い直しましょう。

近藤 和都 准教授

スポーツ社会専攻

心豊かで健康的な人間社会のために、
スポーツやレジャーのあり方を考察する。

「スポーツを時代や社会、人びとの人生との関係の中で理解し、その望ましい関わり方はどうあるべきか？」を問い続けることが、スポーツ社会専攻のアイデンティティです。本専攻では、講義だけでなく、地域や海外に出て実践的に学ぶプロジェクト型学習を用意しており、人文・社会科学の観点からスポーツやレジャーの「いま」を鋭く分析し、より良い世界をデザインする力を養うことができます。

■ 学びの特色

スポーツを社会や文化、経済、教育など
多角的な視点から学び、
社会問題の解決に向けた深い理解を目指す。

体育やスポーツ科学での学びとは異なる特長として、スポーツの「本質」や時代ごとの価値・役割を究明するとともに、現代社会との関係性の中でスポーツのありようを問い直す「スポーツ文化」「スポーツ社会」の学びをコア・カリキュラムとしています。ときには「スポーツ」そのものの価値を問い直す客観的な視点をも養います。

■ 卒業論文テーマ (過年度例)

- 中途障害者とスポーツ：シットイングバレーボール強化選手のライフストーリー
- Jリーグクラブの経営戦略としての地域連携事業の特色とその背景：京都サンガF.C.を事例にして
- これからの「オリンピック・ガバナンス」のあり方に関する研究
- 国際的なスポーツイベントが日本の地方都市にもたらすものは何か
～FIA F1世界選手権シリーズ日本グランプリレースを事例に考える～
- 子どものサッカースクールにおける居場所機能の検討：サードプレイスの観点から
- 現代の日本プロ野球界において最適な本拠地球場とは～魅力的なスタジアムを目指して～

■ 身につく力

スポーツやレジャーに関する
多角的な理解にもとづいて、
その学びを社会へ還元できる。

国内外のスポーツやレジャーに関する文化や政策、ビジネス、メディアなどについて専門的に学ぶだけでなく、産業社会学部の持つ多様な学びと本専攻の専門性を組み合わせ「スポーツ×多様性」「身体×テクノロジー」「スポーツ×地域活性化」など、自らの興味関心や将来のビジョンに応じた自分だけの学びをデザインできる、多様で個性豊かな人材を輩出しています。

Message 教員メッセージ

スポーツ社会専攻では、競技にとどまらず、「遊び」の価値や社会的役割について探究しています。授業では、「楽しい」という基準から既存のスポーツやレジャーのあり方を問い直し、大学の外へと活動を広げながら、より良い形を共創する実践に取り組んでいます。

松島 剛史 教授

スポーツを通じて、
人びとの人生を豊かにしたい

Student's Voice

スポーツ社会専攻では、スポーツを単なる競技としてではなく、社会や地域、文化、ビジネス等との関わりから多角的に学べる点に魅力を感じています。他専攻の専門的な内容も横断的に学びながら、実践的なプログラムにも参加しています。私は京都サンガF.C.と連携した活動で、サッカー観戦の経験が少ない学生向けの観戦ツアーの企画や広報を経験し、相手の興味、関心を理解し、それに応じた情報発信をする重要性を学びました。将来は大学での学びや経験を活かし、スポーツを通じて人びとの人生をより豊かで充実したものにするに携わりたいと思っています。

3年 S.Yさん

春学期 2年次の時間割 ソーシャルデザインプログラムを履修

	月	火	水	木	金
1限				スポーツ社会学	
2限			ソーシャルデザイン・スタディーズ入門	スポーツ文化論	障害者とスポーツ
3限	プロジェクトスタディ	ソーシャルデザイン・スタディーズ実践	グローバルスポーツ論	スポーツとジェンダー	スポーツマネジメント論
4限	保健体育科教育概論		スポーツ人類学		
5限					

秋学期 3年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限	スポーツメディア論	映像と表現			
2限		スポーツ政策論			
3限	スポーツ史	スポーツボランティア論	スポーツ行政論	ゼミナール	
4限	ウェルネス論			保健体育科授業法	
5限	読売スポーツ社会学講座		異文化理解フィールドワーク		

Pick Up!

スポーツ社会学

文化としてのスポーツを社会の文脈に位置づけ、
そのあり方や変化を学びます。

子ども社会専攻

「社会」から「子ども」を、
「子ども」から「社会」を考える。

「子ども」・「若者」期は、私たちがみなそれを経験しているという特徴、そしてそのことによってかえって、その多様性や複雑さに気づくことが難しいという特徴があります。子ども社会専攻では、子ども・若者期を現代社会の中で捉え直し、その課題や教育の意味について追究します。

学びの特色

理論と実践を往還した学び。

子ども・若者の生活世界や教育のあり方について、歴史・制度・文化など、多様な観点から探究していきます。また、理論的な学びにとどまらず、学校や地域、支援の現場などに実際に足を運び、現場の声に耳を傾けることもできます。理論に裏打ちされた確かな実践力を養います。

卒業論文テーマ (過年度例)

- ICT教育における教科特性と学年比較によるベストミックスの在り方
- 自尊心の向上を目指した絵本の読み聞かせ
- 学校とフリースクールの連携における不登校支援について
- Yahoo!ニュースのコメント欄を通して見る子ども食堂に対する社会的認識
- 南海トラフ巨大地震に備えた防災教育－児童主体の防災教育、地域防災意識の向上を目指して－
- 家族関係が子どもの自己肯定感に及ぼす影響に関する研究

身につく力

幅広い視野と高い専門性を身につけた 「子ども・若者のスペシャリスト」。

小学校教員養成課程を設置しており、「小学校教諭一種免許状」を取得することが可能です。免許取得に向けたサポートルームを併設しており、手厚い支援のもとで専門職を目指すことができます。卒業生は、教育現場・官公庁・民間企業等において、培ってきた幅広い知識と諸課題への対応力をいかして活躍しています。

Pick Up!

子ども・若者と社会病理

様々なデータや理論が紹介され、
社会問題についての認識が変わります。

子どもの成長を支え、

未来への橋渡しができる

教員になりたい

Student's Voice

子ども社会専攻では、教育学だけでなく心理学や福祉など、幅広い視点から子どもの発達や育成支援について学べるのが特徴です。特に魅力的なのは、学校教育との関連から子どもたちがどのように学習を進め、成長していくのかを深く学べる点です。授業やゼミを通じて教員志望の仲間と共に学び、自分とは異なる教育観や価値観に触れることができることも大きな刺激となっています。将来は、大学で学んだ経験を活かして、子どもたちの挑戦を支え、一歩踏み出すための後押しができる教員を目指しています。

4年 M.Kさん

春学期 2年次の時間割 小学校教諭免許の取得を目指す場合

	月	火	水	木	金
1限	初等社会			現代教職概論	
2限	算数科教育法			初等理科	子どもと遊び
3限	プロジェクトスタディ	初等英語	学校カリキュラム論		生活科教育法
4限					家族社会学
5限					

春学期 3年次の時間割 小学校教諭免許の取得を目指さない場合

	月	火	水	木	金
1限		メディアリテラシー論			
2限		生命倫理学		スクールソーシャルワーク論	
3限				ゼミナール	生涯学習論
4限			学校カウンセリング論	現代若者論	子ども・若者と社会病理
5限					学校文化・学校空間論

Message 教員メッセージ

子どもたちは、学校や家庭、地域など、さまざまな人や社会との関わりの中で成長していきます。子ども社会専攻では、子ども・若者を取り巻く課題を多角的に捉え、一人ひとりに応じた教育や支援のあり方について考えていきます。

松本 麻友子 准教授

資格取得

小学校教員養成課程

子ども社会専攻では、小学校教諭一種免許状取得のための「小学校教員養成課程」を設置しています。本学部の課程では、他専攻科目の履修が可能であり、幅広い知見を獲得することができます。また、学修に取り組みやすい環境を整え、専門の教員から実践に即した手厚い支援を受けることができます。

PSTルーム (PST=Primary School Teacher)
小学校教員になるための教材研究・模擬授業準備等に活用できるサポートルーム



人間福祉専攻

その人らしく尊厳ある
多様な暮らしと生き方を支援する。

人間福祉専攻では、年齢や性別、障がいの有無、環境に関わらず、誰もが尊厳を保ち地域で暮らせる社会の実現に貢献します。社会保障・福祉制度の理解から、個別の支援スキルまで、自分の関心に合わせて修得。社会福祉と人間発達の視点から、社会を俯瞰する「眼」と、人に寄り添うための知識・スキルの「芽」を育みます。

■ 学びの特色

ウェルビーイングの真理を探究。
多様な学びで、自分の可能性をデザインする。

人間福祉専攻では、社会福祉士、特別支援教育、社会調査士といった専門資格課程が履修できます。社会福祉学を基盤に、ダブルメジャー制度や国際プロジェクトなどに参加し、複雑な現代社会が抱える課題を見つめることも可能です。多様な学びを組み合わせる自由な環境で、将来の進路や自分の可能性を自らデザインできます。

■ 卒業論文テーマ (過年度例)

- 災害後の心的・精神的ケアについての考察 PTSD発症事例・支援策事例から見る現状と課題
- 学校での福祉的課題への対応における養護教諭の役割
- 未就学児の障害福祉サービス事業の現状と期待される役割について ～療育を通じたA君の姿から考える～
- 前科37犯の事例から考える司法と福祉の連携とは
- NPOとの協働による社会的効果 ～地域課題解決のための行政とNPOの協働プロセスに関する考察～
- 児童養護施設の退所後児童の進路・生活

■ 身につく力

社会福祉の視点で社会を読み解き、
多様なフィールドで
「より良い未来」を創造する。

人間福祉専攻での学びは、社会福祉の視点で社会を読み解き、多様なフィールドで「より良い未来」を創造する力となります。社会貢献できる確かな力で自らの未来をデザインします。社会福祉専門職や教員のほか、サービス業、製造業、金融業、公務員など幅広い分野への進路を実現します。

Message 教員メッセージ

私は発達心理学の視点から、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、高齢期のそれぞれに起こる心身の変化と、環境との豊かな相互作用について授業をしています。人間福祉専攻で、人間を知り社会を考え、みんなで心強く生きていける未来を創る学びを深めましょう。

篠原 郁子 教授

福祉の実践的な

知識と技能を持ち、

国際的な支援に携わりたい

Student's Voice

人間福祉専攻の魅力は、障害者支援や高齢者福祉にとどまらず、子ども福祉や国際的な動向、医療制度など、幅広い視点から福祉を学べる点にあると考えています。支援制度についてはもちろん、発達心理学やNPO・NGO論など多様な視点を学べる授業があり、福祉専門職を目指すうえで必要な実践的な知識や技能の習得だけでなく、社会全体を捉え、考える経験ができています。私自身は海外ボランティアも経験し、国際的な社会問題や現地支援への関心を深めました。今後は発展途上国での子ども支援に携わることを目標として、実現に向けて努力していきたいと考えています。

4年 U.Wさん

春学期 2年次の時間割

社会福祉士課程を履修

	月	火	水	木	金
1限		ソーシャルワーク演習専門Ⅰ	社会調査論	ソーシャルワークの理論と方法	
2限	心理学	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	質的調査論	地域福祉論	専門中国語Ⅲ
3限	プロジェクトスタディ				ソーシャルワーク演習
4限			専門中国語Ⅰ		
5限					

春学期 3年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限			児童福祉論		
2限		老人福祉論	Presentation Skills Ⅰ		
3限	人間発達論			ゼミナール	
4限	グローバル社会論	ソーシャルワークの基礎と専門職	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ		
5限			ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		

Pick Up!

人間発達論

人の発達を生涯と環境との関係から捉え、支援・教育・福祉へのつながりを考える講義です。

資格取得

社会福祉士課程

社会福祉士は相談・援助業務に関する国家資格の専門職です。社会福祉士課程に所属し、所定の科目を修得することにより国家試験の受験資格を得られ、国家試験に合格することにより社会福祉士の資格を得ることができます。社会福祉士には、福祉現場、行政、病院、企業などでの活躍が期待されています。

学生の声:現場経験豊富な先生方のサポートで、不安だった実習を乗り越え、ソーシャルワーカーになりたいという思いが固まりました。実習後も国家試験対策はもちろん、就職活動や卒業論文との両立まで相談できる、頼れる存在です。

● 国家試験合格率 全国平均を大きく上回る合格率!

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
本学合格率	75.0%	70.8%	87.5%	86.4%	87.9%
全国平均	31.1%	44.2%	58.1%	56.3%	60.7%

*社会福祉士課程は、定員が定められています。資格取得にあたっては、別途、実習等に関する課程費が必要です。

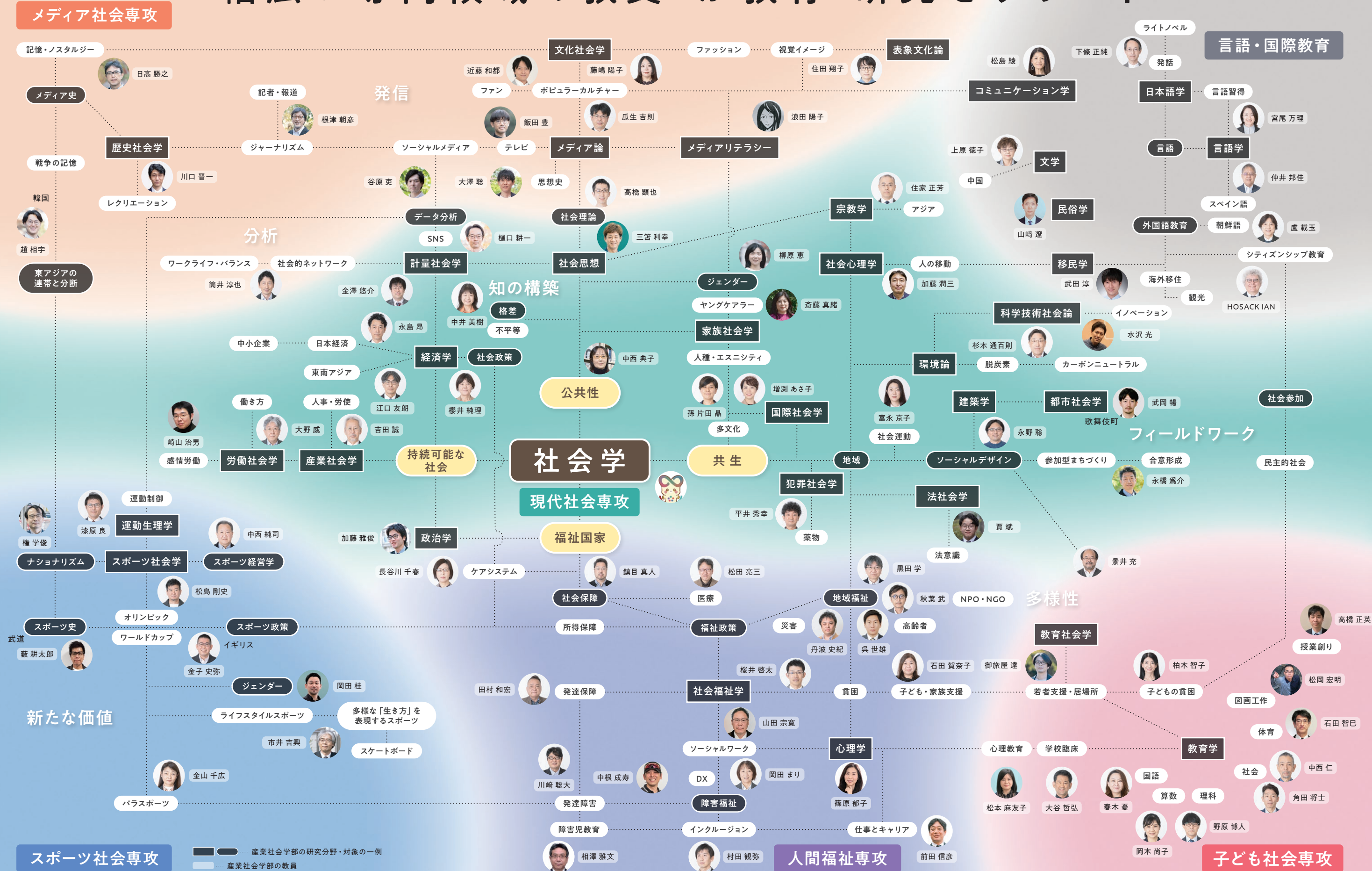


社会福祉実習指導室

幅広い専門領域の教員 が教育・研究をサポート

教員紹介について詳しくはこちら

www.ritsumeikan.ac.jp/ss/about/faculty/



※所属教員と関連する学問分野・研究トピックの一部を示したキーワード群です(2026年4月1日現在)

Research

社会問題を科学する

Pick Up!

ヤングケアラー

「ヤングケアラー」という言葉を手がかりとしながら、子ども・若者であってもケアを担わなければいけない社会の状況をめぐる課題や、家族全体への支援のあり方に目を向ける必要があると考えています。すべての人が、生まれてから死ぬまでの間に、ケアを受ける存在であると同時に、少子高齢化や家族の変化の中で、ケアの担い手になる時代が目前に迫っています。身近な人のケアを、単に負担として捉えるだけではなく、人の命と暮らしを支えるケアという営みがきちんと尊重されるような社会のしくみづくりを研究しています。

斎藤 真緒 教授

現代社会専攻

専門分野

家族社会学、質的調査論

新しい社会のしくみを考える
ヤングケアラーを手がかりとして、



Pick Up!

災害

2011年の東日本大震災および原子力災害では、多くの被災者の皆さんが広域に避難を余儀なくされました。長期にわたりリスクにさらされるのは、紛争や暴力あるいは病気や障がいなど様々ですが、災害もその一つです。このようにリスクにさらされた個人が尊厳を回復し地域の中で生活を再建できる研究を行っています。また災害からの地域再生の研究から発展し、最近では離島における持続可能な暮らしをテーマとした研究も行っています。

丹波 史紀 教授

人間福祉専攻

専門分野

社会福祉政策、公的扶助、災害復興研究



尊厳のある暮らしを考える
災害から

Graduate

社会を学び、未来をつくる



社会を俯瞰する学びを、世界インフラを支える力へ

在学中は環境ビジネスをテーマに、再生可能エネルギー事業の採算性や投資回収年数の分析を通して、環境課題の改善と経済合理性の両立について研究しました。こうした学びを通じて、社会を多角的かつ国際的に捉える視点を養うことができたと感じています。産業社会学部には、自身の関心や問題意識を深く追究し、可能性を広げられる環境が整っており、社会で活躍するための確かな基盤を築くことができます。大学での経験を原点に、現在もエネルギー産業の領域で、よりグローバルな舞台での価値提供に挑戦しています。



三菱重工業株式会社
(エナジードメインスチームパワー事業部 営業部 海外営業2グループ)

F.Sさん

現代社会専攻

2022年卒業

現場に足を運び、人と関わる-地域の活動に参加して学んだこと-

在学中に力を入れたことは、地元の長野県飯田市で取り組まれているまちづくり活動への参加です。地域に暮らす人々と直接関わることで、それまでは「何もない」と思っていた地元の魅力や、深刻な少子高齢化といった課題への理解を深めました。こうした経験から、授業を通じて学ぶことに加えて、実際に現地に足を運んで見聞きすることの重要性を学び、卒業後は地元の話題を多くの人に伝えたいと思い信濃毎日新聞に入社しました。現在は飯田支社で地域の祭りや事件、事故など幅広いテーマの記事を書いています。SNSなどで簡単に情報を得られますが、自分で足を運ぶことで初めて知る事実も多く、大学での経験が今の仕事に活かしています。

K.Hさん

メディア社会専攻

2022年卒業



信濃毎日新聞 株式会社 (飯田支社)

スポーツと社会を多角的に捉え、人と地域をつなぐ

在学中はスポーツ社会学を中心に学び、学部から大学院を通して、スポーツと地域社会の関わりを研究してきました。その中で、スポーツには経済効果にとどまらず、地域の象徴となり、世代を超えたつながりや活力を生み出す力があることを実感しました。そして、スポーツを通して地域を盛り上げ、日本全体を元気にしたいと考えるようになりました。現在はスポーツ興行の運営に携わっています。アリーナが観客で埋め尽くされ、子どもからお年寄りまでが一体となって応援する光景には毎回大きな感動があります。産業社会学部で培った多角的な視点や経験が、これからの仕事の中で少しずつ結びつき、自分の力になっていくと感じています。



名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社
(カスタマー事業部アリーナ課兼マーケティング課)

K.Tさん

スポーツ社会専攻

2024年卒業

多様な学びを力に、一人ひとりに寄り添う教師へ

在学中は、子どもの発達や育成、それを取り巻く社会問題に対して、教育学や心理学など幅広い観点から学びを深めました。なかでも、特別支援学校教諭免許と中学・高校社会科教諭免許の取得に力を注ぎました。そして障害に対する理解や教育支援といった社会の仕組みを多角的に学ぶ中で、一人ひとりの子どもが抱える事情や思いに寄り添いたいという気持ちが強まり、小学校教員の道を選びました。現在は小学校教員として、さまざまな特性をもつ子どもたちが安心して過ごし、学べる環境づくりに取り組んでいます。大学で得た多様な視点や学びは、子どもへの理解や学級経営、保護者対応などに活かされています。

Y.Mさん

子ども社会専攻

2026年卒業



大阪府公立小学校

福祉を学び、社会に新たな価値を届けるキャリアへ

在学中は社会福祉士課程を履修しながら、発達障害など一見しただけでは周囲からわからない困難を抱える子どもや若者に関する研究や学外での活動に取り組みました。具体的には「普通」を頑張る方向へのアプリのリリースや、発達障害の若者当事者向け自助会の立ち上げを行いました。学内での学びに加え、実践活動においても多様な専門領域を持つ先生方に支えていただき、関心のある社会課題に熱量を持って体当たりできた大学生活でした。現在は資生堂に入社し、社会活動の企画運営に関わる部署に所属しています。在学中に培った福祉の視点を生かしながら、社会に新たな価値を届けられるよう業務に取り組んでいます。



資生堂ジャパン株式会社

M.Hさん

人間福祉専攻

2026年卒業